

令和 7 年ロシア・カムチャツカ半島地震に伴う津波警報への対応について

(1) 気象庁による津波警報等の発表状況

■ 7 月 3 0 日 (水)

8 時 2 5 分頃	カムチャツカ半島付近を震源地とするマグニチュード 8.7 の地震が発生
8 時 3 7 分	北海道および太平洋の沿岸に広く津波注意報を発表 (※) ※相模湾・三浦半島には注意報の発表はなし。津波による災害が起こるおそれがなく、若干の海面変動がある場合に発表される津波予報が発表。
9 時 4 0 分	相模湾・三浦半島に津波警報を発表。 ・津波到達予想時刻：11 時 3 0 分／予想される津波の高さ：3 m ・北海道沿岸から近畿の太平洋沿岸に対して、津波予報もしくは津波注意報から津波警報に切り替えて発表。 ・相模湾・三浦半島は、津波予報から津波警報への切り替え。
18 時 3 0 分	相模湾・三浦半島に津波注意報を発表。 ・茨城県から和歌山県にかけて発表していた津波警報を津波注意報に切り替えて発表。 ・北海道沿岸部、青森県、岩手県、宮城県、福島県は津波警報を継続。

■ 7 月 3 1 日 (木)

10 時 4 5 分	相模湾・三浦半島に発表されていた津波注意報を解除。
------------	---------------------------

(2) 津波の到達状況 (検潮所での観測値)

検潮所 (小田原市・三浦市)

小田原市		観測地の発表なし
三浦市	三崎漁港	第一波 30 日 11 時 29 分 最大波 30 日 11 時 10 分 0.2 m
	油 壺	第一波 30 日 11 時 22 分 最大波 30 日 11 時 45 分、 19 時 42 分、 22 時 08 分 いずれも 0.2 m

令和7年ロシア・カムチャツカ半島巨大地震に伴う津波警報への対応について（1／4）

	茅ヶ崎市	農林水産省 関東農政局神奈川県拠点	第三管区海上保安本部 湘南海上保安署	関東地方整備局 京浜河川事務所
① 対応※した内容	・災害対策本部を設置（10時00分）。 ・国道134号以南の沿岸地域を避難対象地域として設定し、避難指示を発令。 ・JR東海道線以南の小・中学校(13校)を避難場所として開設。 ・その後、JR東海道線以北の小・中学校(19校)を避難場所として開設。	・情報共有すべき実施内容なし	・付近航行船舶等に対し警報周知及び湘南署付近観光客の避難受け入れ	・京浜津波対策支部を設置し、警戒体制となった。 ・西湘海岸における工事期間中の施工業者へ避難等注意喚起を実施（施工者退避完了）。 ・調査業務請負者へ作業中止を連絡。 ・須賀周田ゲート・千石河岸ゲート全閉。 ・平塚市、茅ヶ崎市の防災対策課と情報連絡体制構築及びホットライン構築。
② 対応※の中で 難しいと感じたこと	・第2回災害対策本部本部員会議を開催（16時00分）。 → 津波警報解除まで避難場所の開設を継続。 → 津波注意報へ切替わった時点で閉鎖。 ・市役所分庁舎コミュニティホール及びラスカ茅ヶ崎を		特にございません	・海岸対応については河川管理と異なり明確な対応基準は制定していない（都度対応）。 ・現地を観測可能なカメラも少ないことから、現地確認に手間を要する。
③ ②について改善等が必要と感じたこと	・津波警報から津波注意報へ切替わったことに伴い、避難指示を解除し、全ての避難場所を閉鎖（20時00分）。 ・帰宅困難者一時滞在施設のラスカ茅ヶ崎を閉鎖。		同上	・河川巡視にない状況把握等の対応基準を制定するなど基本的な行動を定める必要がある。
④ ②と③を踏まえて、 市との連携が必要と感じた事項	・JR東海道線の運転再開を確認し、分庁舎コミュニティホールを閉鎖。 ・災害対策本部を解散（22時00分）。		同上	特になし
⑤ その他、 共有したい情報			同上	特になし

※「対応」とは、人的・物的支援の調達・采配や、現地での活動内容・派遣した職員からヒアリングした内容等を示します。

令和7年ロシア・カムチャツカ半島巨大地震に伴う津波警報への対応について（2／4）

	関東地方整備局 横浜国道事務所	横浜地方気象台	湘南地域県政総合センター	茅ヶ崎水道営業所
① 対応※した内容	・ 国道1号西湘バイパス通行止め。	・ 気象庁から以下の情報を発表した（相模湾、三浦半島）。 7月30日09時40分 津波警報、同18時30分 津波注意報に切替、31日10時45分 同注意報解除	・ 管内市町の避難指示発令状況や避難所開設状況の把握 ・ 管内市町等からの質問に対する回答（道路情報等） ・ 自衛隊との情報共有（管内市町の状況等）	・ 茅ヶ崎水道営業所で発注した工事の内、海岸付近で施工中の工事を中止とした。
② 対応※の中で 難しいと感じたこと	・ 通行止めの必要性が生じた際、当該路線の地域が避難区域であったため通行止めに必要な人員を現場に配置させるべきなのか判断に迷った。	特になし	特になし	・ 作業員の避難に向けた、現場（掘削中）の安全確保。
③ ②について改善等が必要と感じたこと	・ 道路管理者の中でも、明確なルール制定が必要と感じた。	特になし	特になし	なし
④ ②と③を踏まえて、 市との連携が必要と感じた事項	・ 国道134号からの交通流入 （西湘バイパスまでつながるため、車がぎりぎりまで来るのは好ましくない）	特になし	特になし	なし
⑤ その他、 共有したい情報		特になし	特になし	なし

※「対応」とは、人的・物的支援の調達・采配や、現地での活動内容・派遣した職員からヒアリングした内容等を示します。

令和7年ロシア・カムチャツカ半島巨大地震に伴う津波警報への対応について（3／4）

	茅ヶ崎警察署	茅ヶ崎郵便局	東日本旅客鉄道 湘南・相模統括センター茅ヶ崎駅	東京電力パワーグリッド
① 対応※した内容	・茅ヶ崎駅における雑踏状況の確認 ・海水浴場の状況確認 ・国道134号・海岸にて広報・注意喚起 ・避難所への立ち寄り警戒等	津波警報の後、海岸線沿いの作業（配達・集荷）は見合わせた	・東海道線全線運休に伴うお客さま対応	・現場作業従事者への注意喚起
② 対応※の中で 難しいと感じたこと	・全ての避難所への立ち寄りや避難者数の把握 ・車両利用による避難者の対応	状況の把握	・休憩所や避難所開放などの情報を含め、帰宅困難者対応を始めるタイミングが難しい。 ・代わりの交通手段の混雑状況や運転状況把握、各機関との情報共有が大変だった。 ・災害備蓄品の準備と関係箇所との調整。	なし
③ ②について改善等が必要と感じたこと	・各避難所の状況及び人数の把握	河川の状況も含め、速やかに市内の状況を把握できるようにする	・関係箇所との調整や連携は受け身の姿勢だと情報は得られないので積極的に行動しなければならない。	なし
④ ②と③を踏まえて、 市との連携が必要と感じた事項	・避難者に関する情報の共有及び車両の混雑状況	—	・駅々ラスカ茅ヶ崎 駅々防災対策課 ラスカ々防災対策課間で電話による連絡方法だったが、三者でオンタイムでやり取りができるチャットルームのようなものがあると便利だと感じた。	なし
⑤ その他、 共有したい情報	・避難所以外の場所に避難した住民を把握した際の情報共有 ・今回の警報は、夏の海水浴シーズンであり、市からの海水浴場の客数、対応状況の把握が遅かった。（こちらから問い合わせでも時間を要した）	消防車などが出動した理由など、市内での災害状況を共有したい	なし	なし

※「対応」とは、人的・物的支援の調達・采配や、現地での活動内容・派遣した職員からヒアリングした内容等を示します。

令和7年ロシア・カムチャツカ半島巨大地震に伴う津波警報への対応について（4／4）

	東京ガス	神奈川県トラック協会	茅ヶ崎医師会	茅ヶ崎市社会福祉協議会
① 対応※した内容	・津波警報を受け、弊社建物内（藤沢市片瀬）で垂直避難を行い、津波情報に注視しつつ業務を継続しました。 ・外出している職員には注意喚起を行った。	・津波警報発令後、SNS（facebook、X）での有料道路の通行止め規制の周知など。	・中尾理事からの指示で、茅ヶ崎市から避難指示が発令された旨を茅ヶ崎医師会事務局から全会員宛にFAX周知 ・中尾理事から茅ヶ崎市防災対策課に会員周知の旨を伝達 ・防災対策課から、現状は落ち着いている旨の連絡があり、医師派遣等の必要性が出てきたら連絡するとの受電 ・オンコール体制の検討・構築（津波注意報になるまで）	・沿岸の地域への訪問等は出向かないよう指示した。また、避難指示が出ている地域に居住する職員には注意喚起を行った。
② 対応※の中で難しいと感じたこと	特になし	—	議題にて発言予定ですが、今回、医療救護所は設置されませんでした。が、現状の医療救護所担当医制について、いつ起きるか分からない災害に対し、事前に決められた医師が救護所に向かうことは難しいと考えます。 また、医療救護所ではできることが限られるため、有事の際は、各医療機関の復旧に全力を挙げ、そのうえで参集可能な会員が地域医療センター等を集まり、行政と協力して必要な避難所（救護所）を訪問した方がよいのではないかと考えます。	・警報解除がいつになるのか、わからず、今後の予定をどうするか検討が必要だった。
③ ②について改善等が必要と感じたこと	特になし	—		なし
④ ②と③を踏まえて、市との連携が必要と感じた事項	特になし	—		・市の災害対策本部の動きはHPで公表されていたのか、確認できなかった。
⑤ その他、共有したい情報	特になし	今後とも何かございましたら、都度ご連絡させていただきます。		なし

※「対応」とは、人的・物的支援の調達・采配や、現地での活動内容・派遣した職員からヒアリングした内容等を示します。